

# あらゆる場面での意思疎通を

## 「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例制定」

亀岡市は、手話を言語とした取り組みを推進するとともに、さまざまな障害特性に応じたコミュニケーション手段を、合理的配慮としてあらゆる場面で提供できる地域社会の実現にむけ、4月1日に「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」を施行しました。

社会生活を営むには、意思疎通を欠くことはできません。しかし、聞こえに障害がある人は、音声による意思疎通が困難な場合があり、それらの人に対しては、「音声言語」以外のコミュニケーション手段を提供することが重要とな

ります。

同条例はそういったあらゆる場面での意思疎通を合理的配慮として行えることを目指しています。また、同条例の理解を深め、手話を始めとするさまざまなコミュニケーション手段の体験ができる条例施行記念イベントを6月23日(土)に、ギャラリーかめおかで開催します。同イベントでは、亀岡市の障害福祉の取り組みと条例について、中村雄一さん(亀岡市手話言語等コミュニケーション条例素案作成委員会元会長)によるこれまでの活動報告や、障害のある人から、普段日常生活で感



▲合理的配慮のできる社会の実現を目指します

じているさまざまな思いを直接伝えていただきます。そして劇団あしたの会による手話劇「わかり合えるために」が講演されます。この手話劇では手話だけでなく音声やスクリーンを使った文字表現も同時に行います。そのほか会場前やロビーギャラリーでは、点訳、



▲劇団あしたの会による手話劇(イメージ)

朗読、拡大文字、盲導犬、手話、要約筆記の紹介や体験ができるさまざまなコーナーを開設しますので、皆さんぜひご参加ください。

### 条例施行記念イベントのお知らせ

**と き** 平成30年6月23日(土) 午前10時～午後0時30分  
(開場 午前9時30分)

※各種紹介・体験コーナーは午前11時～午後1時30分

**ところ** ギャラリーかめおか 響ホール

**問い合わせ** 市役所1階障害福祉課地域生活支援係  
TEL 25-5189 FAX 25-5511

## 多様な地域資源のつながり

### 「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想」



▲美しい山並みに囲まれた亀岡市内

私たちの住むこの亀岡市は、美しい山並みに囲まれており、一望して全体が目に入るひとまとまりの世界があります。このような地域では、固有の自然環境や歴史・文化などの地域資源に恵まれており、「小盆地宇宙」と表現されます。このたび策定した「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」構想は、これらの地域資源を回遊式庭園のように水や緑で結び、市民や来訪者が多様な関わりをもつ仕掛けを

## やさしい健康講座 第124回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスをします。



亀岡市立病院 内科部長  
岡田 頼久  
専門分野 肝臓病学、消化器病学

### サルコペニアについて

最近、「サルコペニア」という概念が注目されています。サルコペニアとは加齢とともに筋肉量が減少し、機能が低下した状態です。筋肉量の低下により日常生活の動作が制限され、寝たきりの状態につながる可能性があります。

運動をする習慣が無いと、筋肉は早ければ20代から少しずつ減っていきます。筋肉はエネ

ルギーを多く使うところなので筋肉が減ればエネルギーの消費が減り、余ったエネルギーは脂肪として貯蓄されていきます。その結果、「サルコペニア肥満」に至ることもあります。加齢とともに筋肉が減少しているにも関わらず体脂肪が増加し、肥満を伴う場合です。通常の肥満よりも生活習慣病などにかかりやすく、運動能力、特に歩行能力を低下させ、寝たきりになるリスクを高めます。

若いころと比べて体重がそのままでも、筋肉だった部分が脂肪に置き換わる「隠れサルコペニア肥満」も問題になっています。これらの状態の予防には、バランスのよい食事をとり、筋肉を育てて脂肪を燃焼させる運動を行うことが重要です。筋肉や体脂肪の量がわかる体成分分析検査も当院で可能です。是非受けてみてください。

作りだすことを目指す構想となっています。

本構想は、都市部(主に市街化区域及びその周辺)と農村部(都市部を除く地域)それぞれでの地域性にあった具体的な整備手法や取り組みをさまざまな視点から検討していきます。

また5月13日、同構想にかかる市民フォーラムを開催しました。当日は福井県立大学の進士五十八学長をはじめとする学識者を招いての概要説明およびパネルディスカッションを通じ、同構想の教育への活かし方などについて意見交換。新たな気付きや理解を深める一日となりました。



▲フォーラムの様子

亀岡市は、これからも市民の皆さんと一緒にまちづくりを進め、定住人口・にぎわい人口の増加にむけた取り組みを進めてまいります。